

伝統工芸高岡漆器の技術を活かした木質系100%の高級朱肉ケースの商品化

平成24年5月23日
富山県農林水産総合技術センター
木材研究所

石油系プラスチックを全く含まない木質系100%製品の成形技術を開発し、県の伝統工芸である高岡漆器の技術を活用して新商品化に成功しました。この製品化が、県の伝統産業の活性化と未利用木質資源の有効活用に貢献するものと期待されます。

1. 成果の概要

(1) 県伝統工芸である高岡漆器の技術を活かした商品化

- ① 県産の竹粉（モウソウチク）とスギ間伐材木粉のみを用いて、全国で初めて石油系プラスチックを使用しない木質系100%製品を開発することに成功した。（シヤチハタ(株)との共同開発）
- ② 開発した成形製品に、県伝統工芸の高岡漆器^{*1}の螺鈿細工（ラデンザイク）を施して、「**高級朱肉ケース**」として販売するに至った。
- ③ 本物志向の強い大人の文具市場をターゲットとした商品である。

(2) 開発技術のポイント

- ① 石油系プラスチックや接着剤を一切使用せず、高温高圧下など特殊な方法で処理することにより、さまざまな製品形状に成形可能であること。
- ② 高岡漆器の伝統技術を活用することで、初めて商品化が実現したこと。



2. 今後のスケジュール

- (1) 県のトライアル発注商品^{*2}の制度を活用し、本年度（平成24年度）から量産化に向けた技術検討を行う。
 - ① さまざまな製品形状への展開を検討（量産化技術および製品デザイン）
 - ② 本開発技術の特許取得を予定（シヤチハタ(株)との共同出願）
- (2) 本開発技術の製造拠点の県内整備（平成27年度目標）
 - ① 原材料である竹粉の安定供給体制の整備（スギ木粉は平成23年度に整備完了）
 - ② 木質系100%成型製品の製造拠点の整備につなげる（県内企業との協力）

*1:高岡漆器について

江戸時代初期から400年以上の伝統を持ち、国指定の伝統的工芸品。
世界無形文化遺産を目指している高岡御車山祭りの山車にも、ふんだんに使われている。

*2:富山県トライアル発注商品

県が認定したベンチャー企業・県内中小企業などが生産（製品企画を含む）する新商品を、県が試し買いし、使用後の意見をフィードバックする制度。富山県では、県内中小企業の商品開発を支援するため、全国に先駆けてこの制度を実施している。

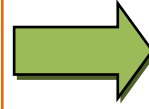


(竹粉)



(スギ間伐材木粉)

原材料



木質系 100%の成型製品



開発した高級朱肉ケース（高岡漆器「青貝塗」仕上げ）

*販売価格は、1 個あたり税込みで 18,900 円、完全受注生産で、納期は約2ヶ月。

*商品は「シャチハタのブランド」で販売され、(株)テフカデザインのホームページから申し込みできる。

シャチハタ株式会社 URL: <http://www.shachihata.co.jp/>

株式会社テフカデザインズ(TFCA DESIGN'S) URL: <http://tfca-designs.com/>

問合せ先 : 木材研究所 TEL.0766-56-2915